

無垢材では全国初!

越後杉ブランド認証材 &
ATAハイブリッド構法

最長9mの柱で奥行10m×梁間11mの

無柱空間

(新潟県阿賀野市)

物件名	坂詰製材所 倉庫
構造	在来工法 平屋建て
面積	1階 約118㎡
階高	1階 7.5m
設計・施工	(株)坂詰製材所(サカヅメハウジング)
構法提供	(株)ATA 大空間木造膜構造研究室

9mの無垢材が
次々と立つ

新潟県阿賀野市、阿賀野川沿いの田野が広がる地域に、3月21日、越後杉を使った倉庫の建て方工事が行われた。

無垢材の杉の柱は、最長9mの平角柱(断面105×330mm)で、基礎に据えつけられた柱脚金物のほぞパイプに次々と落とし込まれていく。昼前には、柱と同じく杉の無垢材で組んだ特製のトラス(AT Aハイブリッドトラス構法)が、クレーンで引き上げられて、柱のほぞ金物で固定された。

構造用金物による接合(金物工法)を無垢材の柱や梁に使用することは非常に珍しい。ATAハイブリッドトラス構法を提供している(株)ATA(富山県滑川市)の大倉代表によると、この構法で最大33mの大空間が実現可能で、今回の無垢材を使ったATAハイブリッドトラス構法は国内初の事例だという。

倉庫は5月の完成予定。一般流通材で大空間を実現させる同構法において、地域材活用の道がひらけた。

【続きは本誌5月号を参照】